

レインボー広場 光のアートを開催!!



昨年の第1回目につづき、本年もレインボー広場にて、2回目の「レインボー広場・光のアート」が小雨交じりの中、12月15日(金)夕刻より数百人の参加者の中、開催されました。ステージには、今年も八幡中央高校美術部の皆さんに作成していただいた、銀河鉄道999のメーテルと東田の1901高炉の絵画パネルが描かれており、訪れた方々を和ませていただきました。

入場料は無料で、ドリンクチケットやフードチケットがセットで販売されており、餃子のコーナーでは長い列で盛況をはくしておりました。

点灯式前には、「ゴスペルクワイヤ エンジェリックシャウト!」の皆さんによるライブもあり、点灯式を大いに盛り上げていただきました。カウントダウンは八幡中央高校美術部の皆さんを中心に、参加者全員の掛け声のもと、無事に華やかなイルミネーションが皆さんの心にも灯されました。この光のアートの点灯期間は、**令和5年12月15日～令和6年1月31日17:30～22:00**まで毎日おこなわれます。お近くに行かれるご予約のある方は、是非1度ご自身でご覧ください。

主催 八幡大谷まちづくり協議会、八幡東区役所
協力 福岡県立八幡中央高等学校

大蔵地区 こども餅つきを開催!

師走に入りますと、各地区で餅つきがおこなわれます。この催しは、地域交流の一環として、社会福祉協議会主催で開催され、主として、子どもさんの育成などを目的としたものとなっています。もちろん、当日までの準備などは地域のお世話をいただいている、全ての方々の協力があることは、言うまでもありません。当日は天候にも恵まれ、絶好の餅つき日和となり、地域の方々、老若男女約80名で開催をされました。会場の勝山団地集会所は熱気にあふれ、おおいに賑わいをみせていました。中でも、驚いたのは、令和5年春に開校した、近隣の日本語学校のネパールの方々への参加でした。学校が出来た当初は300名を超える方々が突然の自転車通学で地域の方々の戸惑いもありましたが、徐々に距離感も縮まってきた印象です。4～5名のネパールの方々とは初めてのとは思えないほどに、上手に蒸したもち米を捏ねて、見事に何度も餅をつきあげあげていました。終了後には、参加された方々に「つきたて餅」のおすそ分けもあり、みなさん納得の笑顔を見せておられました。少子高齢化がいわれて久しい令和の時代ですが、こういった行事がいつまでも続いていくことを願ってやみません。



プロフィール	生年月日	昭和31年8月21日 八幡東区生まれ	職歴	福岡県済生会八幡総合病院勤務(診療放射線技師)
	学歴	北九州市立大蔵小学校卒業 北九州市立大蔵中学校卒業 福岡県立北九州高校卒業 川崎医療短期大学放射線技術科卒業		平成21年 北九州市議会議員 初当選 平成25年 北九州市議会議員 2期目当選 平成29年 北九州市議会議員 3期目当選 令和 3年 北九州市議会議員 4期目当選
	所属	立憲民主党福岡県連 幹事長代理 都市計画審議会委員、保健福祉委員会所属 北九州市卓球協会会長 令和6年1月1日現在		

北九州市議会議員 白石かずひろ事務所 TEL.093-681-6128 FAX.093-681-6138
e-mail k-sris@hop.ocn.ne.jp URL http://www.shiraishi-k.com

●この市政レポートは、市議会各会派に交付される政務活動費を用いて作成しています。
●重複して送付されたり、宛名変更などがある場合は、お手数ですが白石かずひろ事務所までご一報ください。

思いに答える事が 議員の使命です!

大きな課題から小さな問題まであらゆるご相談にお答えします。皆様の課題解決こそが白石かずひろの使命です。



北九州市議会議員 八幡東区

白石かずひろの ハートフル通信

No.58 新春号

[発行日] 令和6年1月 [発行人・編集人] 白石一裕

2024

本年も地域課題やお困りごとに全力投球!! ～北九州空港・滑走路延長工事が始まり、物流拠点本格化へ～



6月・9月に続き12月議会も登壇

お健やかに新年を迎えられておられます事をお慶び申し上げます。

昨年は年頭から4期16年にわたり、本市の舵取りをされて来られた、北橋前市長のご勇退に伴い、新人による市長選挙が実施され、武内市長の誕生となりました。

市長が掲げた、「稼げるまち」や「人口100万都市の復活」の実現を目指し、市議会と切磋琢磨しています。その市政方針の根幹となる新たなビジョン(北九州市基本構想・基本計画)については、現在、民間や市民の皆さんからも幅広い意見をいただきながら作成を進めており、今までは違う形で市政運営を行なおうとしています。

大切な事は市民が住みやすいと感じる政策や、目指す変革などを現実のものとし、SDGsの理念に基づき、「誰一人取り残さない」政策の実現をはかれるかに尽きるものとも言えます。

昨年は八幡東区では黒崎バイパス春の町ラン

念願の戸畑バイパス西交差点・横断歩道が年度内完成へ

プの供用開始で、八幡西区への移動時間が大幅な時間短縮がはかられました。

本年は八幡東区中央町の戸畑バイパス西交差点に念願の横断歩道設置に向けて、準備が進められており、「**つながる街八幡東田⇄中央町**」の実現が長年の要望がようやく叶う事に安堵するけど一方で、安全な活用がなされる事を願っています。

また八幡東区尾倉二丁目にある八幡東柔剣道場が桃園地区に移転新築し、新たに桃園武道場として運用が開始されます。近年は地球沸騰化が顕著となり、耐震課題やエアコン整備のない施設は課題も多く、建て替え検討には大きな財政負担も伴います。その様な中、この新たな武道場は利用者の皆さんも大変喜んでいただけるものと思います。

また北九州空港の滑走路の3000M化が決定し、さらには4月からはヤマトホールディングスが貨物専用機を運航開始し、物流都市として、確かなスタートを切ることを大変嬉しく思います。

一方で物価高騰対策として、電気・ガスなどのエネルギーにおける対策や、実質賃金のマイナスが続くなか、所得向上につながる様に切に願っています。

今議会の補正予算額は、一般会計で164億4821万円、特別会計で7509万円、合計で165億2330万円となっています。

また北九州市立美術館50周年を記念した、横山大観展の開催なども予定されており、楽しみでなりません。

まずは今年一年も元気いっばいにスタートを切っていきたいと思います。

12月議会質問

質問要旨 「北九州市農林水産業計画」 Question について

本市では平成28年より、「北九州市農林水産業振興計画」を策定し、様々な施策を展開してきた。平成28年度から令和2年度までの計画期間中は、市内の農林水産業生産額は概ね維持されてきたが、従事者の減少や高齢化の進行には歯止めがかかっておらず、厳しい状況にある。また令和2年度以降の新型コロナウイルス感染症拡大により、社会や人々の生活様式が大きく変化し、その影響は、生産、流、消費の各場面に及んでいる。

こうした情勢や本市の課題、これまでの5か年の取組の成果を踏まえ、令和4年4月、今後5年間に本市が取り組むべき農林水産業施策の指針として、新たな計画を策定した。

そこで現状と今後の見通しについて伺う。



産経局長

答弁
Answer

農家戸数については、高齢化の進展などにより減少。若い世代の事業継承、新規参入者対策としての初期収入を支える交付金や経営安定のための支援金の交付、また研修実施などに取り組んでいる。その結果、令和4年度は20名の新規就農につなげた。

農林水産業の生産額80億円の達成見込みは、コロナ感染症などにより、令和4年度は約4億円減少し目標を下回ったが、今後の目標達成に向け、直売所やEコマースなどの販売方法などにより「稼げる農林水産業」を目指していく。

担い手施策の目標に対する令和4年度の進捗状況は、「認定農業者」の数が目標100経営体に対し71経営体で進捗が少し遅れている。今後、農家への訪問相談などにより経営改善の計画づくりに対する支援を強化していき、認定数の増加に努める。「むらづくり活動」では、現在活動を行っている地区は4地区となっており、目標の累計12地区に対し順調に推移している。「新たな担い手の人数」は目標の累計100人に対し35人と順調に推移している。今後、様々な相談に対応できるワンストップ支援体制の構築などの取組を強化していく。

質問要旨 「本市の保育行政の課題」 Question について

本市の保育の質の向上については、不適切保育を未然防止のためにも重要な課題と認識している。保育の質の向上のため、国の実施内容に加え、本市独自の若年層保育士に対する処遇改善を実施し、保育士の確保に努めるとともに、1歳児配置基準を本市独自に5:1にしている。また病児保育に関しては、今年度からの利用料無償化や感染症の流行で予約が取れない状況にある。更には保育所入所申請のオンライン申請が出来ないなどの課題がある。このような様々な課題に対して配置基準の見直しや、病児保育施設整備や保育所入所のオンライン化の実現などについて、前向きに検討すべきと考えるが見解を伺う。



子ども家庭局長

答弁
Answer

病状が急変しやすい乳幼児に、医師による迅速な対応を可能とするため、病児保育を行う施設を医療機関に併設して、現在、北九州市内に13ヶ所で実施している。様々な要件などにより、利用を断られるケースもあり、必要時に利用出来ないとの声もあがっている。

このような状況を踏まえ、令和5年8月以降、利便性の向上や利用者数を平準化するための予約管理システムの導入や、受入れ拡大のための保育士増員に対し、支援を開始した。このような支援を利用した施設では、利用人数が約1.6倍に増加するなどの成果も出た。

新たな病児保育施設の整備については、予定を前倒し、12月議会で補正予算議案を計上し、令和6年度内の開設を目指している。これらの事業を着実に実施し、今後も利用者のニーズや感染症の状況を見極め、必要に応じて、さらなる施設整備も検討していく。

保育所入所申請のオンライン化については、保護者の負担軽減を図る必要もあり、着手可能な手続きからデジタル化を進めることとし、まずは入所申込書についてオンライン申請を導入した。今後も引き続き、保育所入所に係る書類について、早期に全てをオンラインで申請出来るよう検討を進めていく。

滑走路延長事業と ヤマト貨物機就航

北九州空港

12月2日北九州空港の滑走路延長事業が着工しました。国土交通省は滑走路を南に500m伸ばして3000mとする計画で、2027年8月31日に供用を開始する予定としています。

滑走路の延長により、欧州や北米との間で大型貨物機の直行運航が可能となります。またヤマトホールディングスは貨物機を今春から運航すると発表がありました。1日2便でスタートし、夏以降は羽田、成田、那覇を結ぶ3路線で1日6便に拡大します。専用の物流施設も導入する計画で首都圏との輸送拠点とする方針です。北九州空港は24時間発着可能な利点を生かし、成田から午前0時台に到着する便や、午前1時台の羽田行きを計画しています。

北九州空港は貨物機専用の定期便が就航している九州唯一の空港で、現在は大韓航空が韓国便を、米貨物大手UPSが、中国便を運航しています。北九州市はヤマト運輸(株)と連携協定を結び、滑走路延長も現実のものとなり本格的な国際物流拠点化を目指しています。



北九州空港初フライト ヤマト貨物専用機となった

横須賀市・保健福祉委員会・視察報告 終活登録制度について

横須賀市による先行事例として、多くの議員や行政が視察に訪れる街で、我々、北九州市議会・保健福祉委員会でも行政視察を行わせていただきました。横須賀市の取組は、官民連携による「誰もひとりにさせない」を基本に、周没期の課題解決のため、2つの終活支援に先進的な取り組みを行っています。

9月議会で質問した終活登録制度に関わる重要な政策と認識し、現場の課題などについて詳しくお話を伺いました。北九州市では様々な場所で「エンディングノート」をお配りしていますが、課題として書き留められた情報を、本人が万一の時に、その必要な内容をご本人の遺志として、生かす事が、保証されない現状があります。そのご自身の死後の意志伝達をたしかなものとするため、登録制度を開始し様々な課題解決を図っています。

私の議会質問では、北九州市として終活登録する場合、個人情報保護の観点から情報管理が担保出来ないという答弁でしたが、今後は本市も積極的に取組を進めていかなければなりません。本市の単身高齢者は6万5千世帯にも達し、平素の、近隣コミュニケーションを高めていくことも大切ですし、このような取組を進めていくことが肝要であると思います。

また単身高齢者だけではなく、周りの理解や社会的な課題としての受け止めが必要と考えます。誰もがご自身の終活を考えるきっかけとしても、こういった、エンディング・サポート事業や終活情報登録伝達事業を他人の話とせず、興味ある課題として位置付けしていただけたらと感じました。



終活登録について詳しくうかがう



皆さま、新年明けましておめでとうございます。今回からポテトにかわり僕ことミロが父さんの秘密？をお話していきます。その前にちょっとだけミロの自己紹介を！ミロは外で生まれましたが、どうしてもお家の猫になりたいと、毎日通ったお家の人に拾ってもらい縁あって白石家の長男となりました。今は母さんを独り占めして甘えています。実は諦めないガッツある猫なのです(笑)ガッツあると言えば父さんもガッツあります。

父さんはよく風邪をひきます。それはお酒を飲んでそのまま寝てしまうからです。でも12月、珍しく母さんがインフルエンザにかかってしまいました。その時「俺は絶対にインフルにはならん」と凄く注意していました。

その理由は、父さんにとっての「大きなイベント=矢沢永吉のコンサート」があったからでした。本当にインフルエンザにならなかった父さんはガッツがあるとミロは関心しました(笑笑)こんな父さんですが、今年もよろしくお願いたします。

